

## 県立小野工業高等学校 定時制課程

# ワールドマスターズゲームズ2021 関西マスコット 「スフラ」展示台を課題研究で製作しました

欠席・遅刻もない4年生たちが活躍！

神戸新聞 令和3年2月2日（火）朝刊 （北播版）

小野工業高校（小野市片山町）定時制4年の生徒6人が、2022年に延期された生涯スポーツの国際大会「ワールドマスターズゲームズ（WMG）2021 関西大会」のマスコット「スフラ」の展示台を制作した。高さ1・5メートルほどの着ぐる

### 小野工業高定時制の6人 WMG着ぐるみ展示台制作 神戸の県庁ロビーに設置へ



WMGのマスコット「スフラ」の展示台を制作した小野工業高定時制4年の生徒たち（小野市片山町）（小野工業高提供）

みを固定できる構造で、兵庫県庁2号館ロビー（神戸市）に設置される。同校定時制「課題研究も」のつくり班の活動の一環。WMGの県実行委員会から、着ぐるみ展示用の装置制作の依頼があったことから、1年をかけて設計と組み立てに臨んだ。メンバーは4年の荒木大地さん、高田蒼さん、藤城日向さん、

瀧口拓弥さん、辻諒介さん、又川竜紳さん。

マスコットが立った状態で展示できるようにと、金属や木材のほか、竹材を使い、着ぐるみを内部から固定できる骨組みを設計。WMGをアピールするバックボードも作った。

同校であった贈呈式では、生徒たちが実行委のメンバーに展示台を手渡した。荒木さんは「展示台の制作で、ものづくりとチームワークの大切さを学べた。大会PRに寄与できればうれしい」と話していた。

（杉山雅崇）



今回、製作に関わり、卒業を控えた4年生6名のうち、1日の欠席も遅刻もない皆勤生徒が1名、2日の欠席であった精勤生徒が3名。…頑張り抜いた生徒が「課題研究」で製作しました。

昼間働き、夜に学ぶ毎日。環境は厳しく苦勞を重ねた4年間でありましたが、卒業を間近にしたこの日、井戸知事から感謝状をいただき、一同大喜びでした。

定時制生徒のすばらしい努力に、どうか温かい拍手をお願いいたします。

みなさん、ぜひ県庁2号館ロビーで小野工業高校がつくったスフラに会ってくださいね！